

はなみずきの まちだより

2011年7月

第51号

編集・発行 千種区社会福祉協議会

名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

TEL 052-763-1531 FAX 052-763-1547

ホームページ

<http://www.chikusa-shakyo.jp>

東日本大震災への被災地支援に ご協力いただきありがとうございます。

このたびの、東日本大震災により亡くなられた方々
のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されて
いる皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、
大きな被害が発生し、被災地支援として、岩手県大槌
町に千種区社会福祉協議会から3名の職員が派遣され
ました。(P4、P5に被災地派遣報告あり)

一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げ、
今後も引き続き、被災者の皆様の生活支援や被災地復
興に向けた支援などに全力で取り組んでまいります。



▲大槌町へ派遣された職員3名

千種区共同募金委員会から

義援金状況
(平成23年6月21日現在)

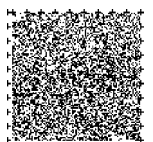
144件 8,028,720円

●お寄せいただいた義援金は
全額中央共同募金委員会に
送金され、配分委員会を通じ
て被災地へ届けられます。

各ページにSPコードを載せました。SPコードとは、このコードの中に文字情報を記録することができ、専用の
読取機で読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができます。これにより、高齢者や目の不自由な方にもこの
広報紙の情報をご提供できるようになります。(携帯電話で読み取るQRコードではありません。)

SPコードをご利用の方がいらっしゃいましたら、千種区社会福祉協議会(TEL.763-1531)までご連絡ください。

SPコード



この広報紙は賛助会費を財源に作成しました。

第2次地域福祉活動計画“進捗状況”

～つながる・ひろがる・かよいあう～

本会の第2次地域福祉活動計画が実施3年目を迎えました。今回は、基本計画「地域福祉活動の担い手づくり」において、区内高齢者施設におけるボランティアニーズ調査を実施しましたのでそのご報告をします。

千種区

高齢者施設ボランティアニーズ調査結果

■実施時期／平成22年10月

■調査方法／FAX

■送付先／区内高齢者施設 43ヶ所

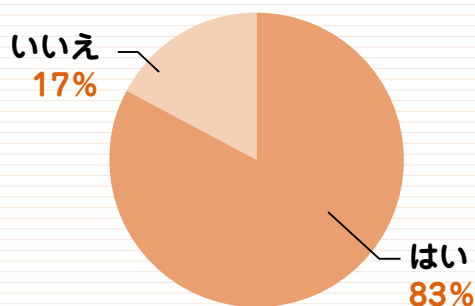
■回答／23ヶ所

(デイサービス・特別養護老人ホーム等)



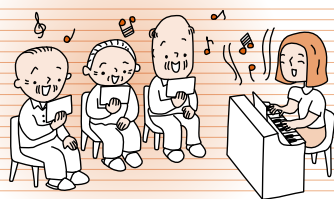
質問項目の一部をご紹介します。

Q.1 ボランティアを受け入れていますか？



Q.3 現在どのような種類のボランティアが活動していますか？

- ・行事の際にダンス・歌・演奏などのボランティア
(合唱・ハーモニカ・大正琴・太鼓等)
- ・お話し相手(傾聴)ボランティア
- ・理髪ボラ
- ・麻雀ボラ 等



Q.6 新しくどんな種類のボランティアが必要ですか？

- ・大正や昭和初期の頃の遊びを披露してくれるボランティア
- ・将棋・麻雀を一緒にしてくれるボランティア
- ・買い物などの外出に付き添ってくれるボランティア
- ・お話し相手(傾聴)ボランティア

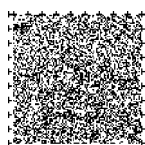
詳細は、本会ホームページに掲載予定です。(平成23年夏ごろ)

高齢者施設にてボランティア活動をしてみませんか？ **ボランティア募集!!!**

施設において、お話し相手・外出の付き添い・演奏ボラ等あなたの趣味をいかしたボランティア活動をしてみませんか？

アンケートからもわかるように多くのボランティアさんが活躍しています。

まずは、本会ボランティアセンターまでお電話下さい。お待ちしております。



千種区社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL 763-1536

平成22年度

事業報告

平成22年度は、「つながる・ひろがる・かよいあう」をテーマとした千種区社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画を推進し、身近な場所への福祉情報コーナーの設置検討、視覚障がい者に焦点を当てた福祉座談会の開催、赤い羽根共同募金機能付自動販売機の設置促進のPR等を行いました。その他、地震等の災害発生に際し、災害ボランティアセンターを迅速に立ち上げるための開設準備研修の実施、「高齢者はつらつ長寿推進事業」における、事業のサポートボランティアグループ“はつらつちくさ”の活動支援等、多面的な活動を展開しました。

「いきいき支援センター(千種区西部エリア)」

事業では、学区担当制を導入し、地域への窓口の明確化、認知症への理解促進のための認知症サポーター養成講座の定期実施に取り組みました。

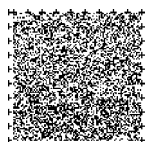
通所介護事業(デイサービス)、訪問介護事業及び居宅介護支援事業では、職員の資質向上、専門職による主体的な事業運営を通して、サービスの向上に努めました。



千種区社会福祉協議会 平成22年度 決算のご報告

本会では、皆さまからの賛助会費・共同募金、名古屋市社会福祉協議会からの助成金、また、名古屋市からの委託金を元に「誰もが安心して生活できる千種区」を目指して様々な事業を行いました。

収入 (千円)	会費収入 6,873	支出 (千円)	人件費支出 75,446
	寄付金収入 2,607		事務費支出 7,141
	補助金収入 4,908		事業費支出 26,315
	助成金収入 45,417		助成金支出 18,712
	受託金収入 2,176		負担金支出 284
	貸付事業収入 0		借入金償還支出 10,361
	共同募金配分金収入 12,829		積立預金支出 4,523
	介護保険収入 54,216		その他 1,004
	雑収入 779		小計 143,786
	借入金償還補助金収入 10,368		次期繰越金 33,424
	前期繰越金 35,500		
	その他 1,537		
	収入合計 177,210		支出合計 177,210



東日本大震災被災地（大槌町）派遣報告

■主事 小林雅行から

私は、平成23年4月2日(土)～平成23年4月10日(日)に災害支援を目的として岩手県大槌町社協に派遣されました。その当時東北新幹線は震災の影響で那須塩原までしか運行しておらず、名古屋から那須塩原までは新幹線を利用し、その後はレンタカーを使用し大槌町まで約7時間の運転となりました。今回は釜石市を経由し大槌町に到着するルートでありました。

釜石市に入り少し経つとガレキが道路脇に多く散乱し、信号が止まっていて警察の方が交通整理をしていました。それだけでも大変な震災であったと思いますが、海岸に近づくとも自動車が折り重なっていたり、電柱が折れていたりし、車が走ると砂煙が多く立ち上げるといった状態で非常に震災の影響を受けていると感じました。

そこから海岸の見えるところに来たとき海岸沿いがすべてガレキで埋め尽くされており、一部残っている鉄筋建物の建物が無ければこの場に人が暮らしていたことを想像することができないほどの状態でした。大槌町に到着しても、まったく同じ状況であり、テレビや新聞で見ていた光景ではありますが、実際に現地で見たところ、あまりの被害の大きさにショックを受けました。

実際の現地の活動として、社会福祉協議会ではボランティアセンターの運営と緊急小口資金（原則10万円以内）の貸付の2つが大きな仕事となっていました。今回私の担当は緊急小口資金の貸付であり、避難所を3ヶ所回り計24件の申請を受け付けました。避難所を訪問し、緊急小口資金の申請を受け付けているときには、家族の方が行方不明になったが、それでもまだ自分は恵まれている方と言われ、返す言葉がありませんでした。また、4月7日の夜には大きな余震があり、自分が生まれてはじめての大きな地震でとても怖かったです。

今回の大槌町への災害支援では、自分なりにお役に立てたのではと思います。少しでも早い被災地の復興・復旧がされることを祈っています。



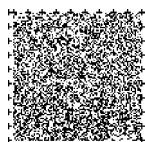
▲安渡小学校(避難所)の緊急小口資金受付窓口の様子

■次長 平野和彦から

私は、平成23年4月7日(木)～15日(金)までの期間で派遣され、大槌町災害ボランティアセンターの桜木町サテライトに配置されました。桜木町は山と川に囲まれた約420戸の住宅が密集し、比較的半壊住宅が多い地域でした。従事業務はボランティアコーディネーターとして、桜木町の住民から「瓦礫の撤去」、「泥出し」、「使用不可能になった家具の外出し」などのニーズを受付し、主に岩手県を中心とした全国からのボランティア団体に活動先をコーディネートする業務に携わりました。派遣された当初は、テレビで報道されているそのままの光景の広がりを目の当たりにし、その状況に圧倒されていましたが、ボランティアさんが淡々と今できることをこなしている姿や、避難所での生活を余儀なくされている住民の方が辛抱強く生活している姿を見て、自分にできることを精一杯頑張ろうという気持ちが湧いてきました。今後、引き続き社協職員は交代で派遣されますが、何より被災された方々の避難生活は少しずつ改善されながらも長く続いていくことと思われます。「また少しでも支援活動に携わりたい」そんな思いが今も沸々と湧き上がってくるような感情を持ち帰った派遣でした。



▲ボランティアセンター(桜木サテライト)の様子



■主事 浅井法子から

私は、平成23年5月12日(木)～5月20日(金)に岩手県大槌町災害ボランティアセンター本部業務を担当することになりました。

震災から2ヶ月が経ち、災害ボランティアセンター本部はプレハブにて業務を開始している状態でした。私が行った業務は、全国からボランティアを希望される方々の受付・コーディネート業務が主となりました。大槌町においては、個人でのボランティア受付は行わず、5名以上のグループを対象とした受付が基本となっていました。全国からかかる電話においては、被災地を気遣う温かくやさしい言葉が多く、少しでも何かできないかという気持ちが伝わってきました。ボランティアさんには、主にガレキの撤去や泥だしをお願いしていました。女性の方等においては、自衛隊や消防から届く写真の洗浄作業をお願いしました。多くの方が津波において大切な思い出の品が流されている状況であるため、写真を洗浄して、写真展を行い持ち主に返していくボランティアはとても重要なものとなっていました。

社協職員も、私が滞在中に、家族の写真が見つかり、奥様と一緒に涙を流して喜んでいらっしゃいました。その写真をとても大切に私に見せてくださる姿がとても印象的でした。

当時大槌町においては、避難所が31ヶ所あり、炊き出しのボランティア調整も行いました。避難所においては、自衛隊の食事提供もありますが、毎食提供が難しいため、ボランティアの方の炊き出しはとても喜ばれていました。

今回の派遣においては、全国から集まった社会福祉協議会の職員のマンパワーのすごさも実感しました。



▲ボランティアセンター(本部)の様子



ボランティア講座 【2回連続講座】



第1回

千種区で地震が起きたら、
あなたならどうしますか？

日時 平成23年 9月3日(土)
10:00～12:00

- 講演
講師：災害ボランティア
ちくさネットワーク会員
- 非常食の体験試食会

第2回

災害が起きたとき、どんな
ボランティアが必要ですか？

日時 平成23年 9月10日(土)
10:00～12:00

- グループワーク
- 被災地(岩手県大槌町)での
ボランティア活動報告
- 千種区ボランティア連絡協議会の紹介

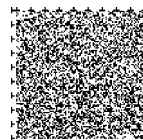
場所：千種区社会福祉協議会 研修室

定員：40名(先着順)

主催：千種区社会福祉協議会・千種区ボランティア連絡協議会

後援：千種区役所

問合・申込 千種区社会福祉協議会 TEL 763-1531



認知症の人とそのご家族を地域でささえます

～エム・ケア介護センター様の職員研修で 認知症サポーター養成講座を開催しました～

平成23年6月4日(土)午後1時30分から、(株)エム・ケア介護センターの職員(ホームヘルパーさんやケアマネジャーさん等)を対象とした職員研修が田代コミュニティセンターで開催されました。当日は、大勢のみなさんが参加され、熱心に受講されていました。

この日、地域で認知症・そのご家族をささえる一員として活躍していただける認知症サポーターが61名誕生しました。



★認知症サポーター養成講座とは……

認知症の基本的な知識や介護方法等を学び、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくための講座を毎月定期的に開催しています。

定期開催以外にも、ご希望があれば出前講座もいたしますので、お気軽にお問合せください。

◆認知症サポーター養成講座を受講した感想◆

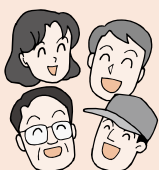
- 地域や事業所、認知症やそのご家族のみなさんが協力して、よい地域をつくっていければと思いました。
- 具体的に何かをすることができなくても、認知症の方の理解者にはなれそうです。
- 認知症のご本人と同じように、家族の人にも苦しんでいることがわかり、ご家族の声にも耳を傾けたいと思いました。
- 自分の住んでいる地域にサポーターがいることを、地域のみなさんが知ることができるようになっていただきたいと思います。
- 認知症を特別視するわけではないが、講座を受け知識を身につけることで対応のしかたは変わると思いました。

認知症サポーター養成講座以外にも、いきいき支援センターでは物忘れのある方や認知症の方、そのご家族を支えるために、さまざまな事業をおこなっています。

家族サロン (憩いの場)

介護に対する同じ想いを抱えたみなさんが集まり、ご自身の今までの介護体験やその中で感じたこと等を自由に話し、交流をする場です。

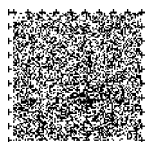
★毎月1回開催



認知症家族教室

認知症高齢者を介護しているご家族、介護者のみなさんが集まり、認知症の基本的な知識や介護のヒント等を学んでいただく場です。

★毎月1回開催。全6回(4～9月)



詳しいことについては

千種区西部いきいき支援センター

TEL 763-1530 までご連絡ください。

～共同募金の使いみちの紹介コーナー②～



皆さまからご協力いただいた共同募金は、地域の福祉活動の様々な場面で役立てられています。ここでは、共同募金の使いみちをご紹介します。

千種区子育てマップをつくる会 「千種区子育てマップ第4号を発行しました」



共同募金から補助をいただきまして、「千種区子育てマップ第4号」を平成23年3月に発行することができました。保育園の保護者や職員でつくっている「千種区保育と教育の会」の方針により実行委員をつのり保育士・指導員や主婦・NPO関係者で取り組みました。

この子育てマップは、区内にある幼稚園・保育園・学童保育所や公園・遊び場・病院・医院の紹介、子育てグループや子育て支援の情報を調査して掲載しています。我が子の発達に心配がある人の相談やDVの相談機関も載っています。

初めての子育てや遠くから転居していらっしゃる方に喜ばれています。お母さんたちがかばんに入れて持ちやすいように今回はA5サイズとコンパクトにしました。1冊300円、114ページです。



問合せ 田代保育園 千種区山添町1-75-2 TEL 762-2602

上記に来ていただくかまたは、送ることもできますのでその場合は到着後、同封する振替用紙で料金と送料をお送りください。

共同募金へのご寄付をいただきました皆様、ありがとうございます。今後も一人ぼっちで子育てに悩むことがないように多くの人が手をつないでいくお役に立ちたいと思います。

お寄せいただきました共同募金は、愛知県共同募金会でまとめられ、約8割が千種区の地域福祉の向上に、約2割が県内の社会福祉施設の整備や団体の事業に役立てられています。

料理にチャレンジ2011 ～男性シニアと学生の交流会～

同世代の仲間と一緒に、料理を作りながら仲間づくりをしませんか？
当日は、学生さんとの交流も楽しんでいただけます。

日時 平成23年8月8日(月) 午前9時～午後1時

場所 ニチエイ調理専門学校(中区新栄1-43-9)

※場所の詳細については、当選者に改めてお知らせいたします。

対象者 千種区在住の60歳以上の男性

定員 20名

メニュー 「鶏のくわ焼き」「もやしと三つ葉の胡麻和え」
「きんぴらごぼう」

参加費 材料費として500円

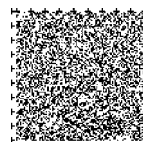
持ち物 エプロン・三角巾・タオル



▲昨年度の調理風景

**申し込み・
問い合わせ**

7月1日(金)～7月19日(火)の平日午前9時00分～午後5時00分に、
千種区社会福祉協議会(電話763-1531)までお電話ください。
※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。



千種区在宅サービスセンター (デイサービスセンター) 開設から12年

平成12年の介護保険制度開始前から運営している本会のデイサービス事業が開設から12年経過しました。ご利用の皆様楽しく充実したひとときを過ごしていただけるよう、ご自宅まで送迎し、健康チェックをさせていただくとともに、入浴・昼食、レクリエーション・体操や口腔ケアなどを実施しています。なんとって一番のおすすめは、ボランティアグループ【はなみずき】さんに毎日手作りで出来たての美味しいお昼ごはんを提供していただいているところです。スタッフ一同、お客様に安心・信頼していただけるサービスを提供できるよう、いつも元気に頑張っています。



千種区介護保険事業所からのお知らせ

本事業所では、なごやかスタッフ（直行・直帰型ホームヘルパー）さんを募集しています。空いた時間でお仕事をしてみませんか。ヘルパー2級以上の資格を持った方でご興味のある方は、ぜひ本事業所までご連絡下さい。【担当：平野】



「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付をいただきました。

＜平成23年4月1日～平成23年6月21日＞

善意の小箱

- 名古屋ヤクルト販売(株) 様
- 近藤富貴子 様

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

社 協

しゃきょう

クイズ

Q. 今回掲載の男性シニアを対象に募集している料理を通して仲間づくりを行う催しは何？
“料理に ○○○○ 2011”

○○○○に入る言葉を当ててください。

- ①チャレンジ ②チェンジ ③オレンジ ④電子レンジ

【応募方法】 ハガキにクイズの答えと広報紙「はなみずきのまちだより」の感想をお書きください。住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ千種区社会福祉協議会「社協クイズ」係まで。締切は7月29日(金)とさせていただきます。

☆正解者の中から抽選で10名に記念品をプレゼントします。



社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会 (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825 / 名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

●お問い合わせ先

電話 【代表】052-763-1531

【ボランティアセンター】052-763-1536

【千種区西部いきいき支援センター】052-763-1530

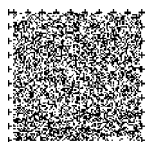
FAX 052-763-1547

ホームページ <http://www.chikusa-shakyo.jp>



●公共交通機関のご案内

市バス	金山11号系統(金山-池下)	田代本通	下車徒歩5分
	栄16号系統(栄-名古屋大学)	田代本通	下車徒歩5分
	名駅17号系統(名古屋駅-名古屋大学)	田代本通	下車徒歩5分
	千種巡回系統(地下鉄自由ヶ丘-地下鉄自由ヶ丘)	田代本通	下車徒歩5分
地下鉄	東山線「覚王山」4番出口 または 東山線・名城線「本山」4番出口		下車徒歩10分



駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。